

# 選 挙 公 報

役員選挙について

役員候補者の選挙公報を掲載します。

理事につきましては、立候補者が定数を超えたため、代議員の皆様におかれましては、投票期間内に投票をお願いいたします。

監事に関しては、定数未満のため投票は行わず、理事会で欠員数に応じた役員を指名します。

備考：この選挙公報は、候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです。

|    | 定数   | 立候補者数 |
|----|------|-------|
| 理事 | 20 名 | 21 名  |
| 監事 | 2 名  | 1 名   |

選挙期間 2025年 5 月 28日（水）12：00～6 月 10日（火）12：00

投票方法 インターネット投票

＊日本理学療法士協会のマイページ内よりログインしてください

2025年 5 月

一般社団法人 兵庫県理学療法士会  
選挙管理委員会

# 理事立候補者

定数：20 名

立候補者数：21 名

※投票は定数連記方式（20 票まで有効）となります

備考：この選挙公報は、立候補届出順に、  
候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです



氏名 森沢 知之

年齢 49

勤務先名 神戸リハビリテーション病院



氏名 中谷 知生

年齢 50

勤務先名 宝塚リハビリテーション病院

## 経歴

### ●現職

神戸リハビリテーション病院 リハビリテーション部部長  
順天堂大学大学院保健医療学研究科 客員教授

### ●職歴

兵庫医科大学病院、国際医療福祉病院、高知医療センター、心臓病センター榊原病院、兵庫医療大学、順天堂大学を経て現職

### ●社会貢献

日本循環器理学療法学会理事、国際エクササイズ学会理事、日本心臓リハビリテーション学会評議員、日本呼吸ケアリハビリテーション学会代議員、日本呼吸療法医学会代議員、日本集中治療医学会PT、OT、ST委員会委員など

## 経歴

### 【士会に関する活動】

兵庫県理学療法士会 理事（学術局；2023年～）  
第36回兵庫県理学療法学会 大会長（2025年10月予定）  
日本脳卒中医療ケア従事者連合・兵庫県支部担当（2024年～）

### 【日本理学療法学会連合、その他】

日本神経理学療法学会 理事（2021、2022、2024年～）  
日本支援工理学療法学会 評議員（2021、2025年～）  
日本義肢装具学会 広報委員（2024年～）

## 立候補の趣旨

6年ぶりに兵庫県理学療法士会に復帰いたしました。兵庫県理学療法士会のさらなる発展と理学療法士の社会的価値の向上を目指して理事に立候補いたします。

障害の複雑化、病院の機能分化、理学療法の多様化など、理学療法を取り巻く環境は大きく変化しており、私たちの役割も日々進化を求められています。これまで兵庫県理学療法士会は「マルチモビリティ対策事業」や「神戸地域一体化リハビリテーションコンソーシアム（キュア神戸）」など先駆的な取り組みをされており、全国の模範的な士会活動であると思料します。これまでの臨床、研究、教育の経験を活かし、更なる発展のために県士会活動に貢献いたします。

## 立候補の趣旨

前回の役員選挙では多くのご支援により当選の機会を頂き、本会の運営に携わって参りました。この2年間、士会が兵庫の理学療法発展に向け多岐に渡る活動を展開し、その運営が多くの代議員・部員の皆様のご尽力に支えられている事を実感致しました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

理事としては学術局を担当しました。理学療法士の学術活動には、他学会を含め多くの選択肢が存在します。その中で士会の学術活動の特色は「身近さ」「多様なテーマ」「地域の実情に即した内容」にあると思います。

しかし近年、「コスバ」や「タイバ」といった効率を重視する風潮の中で、専門特化型の学会志向や、そもそも学術活動への関心の低下といった傾向も感じられます。だからこそ、こうした時代において、士会が持つ学術事業の特色や意義が、より一層重要になるものと考えております。

次期任期におきましては、士会が展開する学術関連事業の取り組みや成果を、より多くの会員に届けられるよう、情報整理と発信力強化を図る組織づくりに取り組みたいと考えております。なお今年度の学術大会は、本趣旨を反映した学会となるよう、現在大会長として準備に取り組んでおります。理事候補としてご支持を賜りますとともに、学術大会の運営にもご理解とご協力をいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



氏名 岩田 健太郎

年齢 47

勤務先名 神戸市立医療センター中央市民病院



氏名 木澤 清行

年齢 48

勤務先名 リハビリ訪問看護ステーション 蕾

## 経歴

2001年7月 金沢大学医学部保健学科卒  
2002年4月 金沢社会保険病院 介護老人保健施設／リハビリテーション科  
2005年1月 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部  
2014年4月 兵庫県士会 卒後教育部  
2017年4月 日本理学療法士協会 管理運営部門運営幹事  
2018年4月 日本集中治療医学会 P T O T S T 委員会委員  
2021年6月 兵庫県理学療法士会 理事  
2022年1月 C U R E - K O B E ワーキンググループ委員  
2022年3月 神戸大学大学院博士後期課程卒

## 経歴

県士会役員歴  
1999年 兵庫県理学療法士会 神戸（東）ブロック運営委員  
2005年 兵庫県理学療法士会 神戸（東）ブロック長  
2014年 兵庫県理学療法士会 卒後教育部長  
2016年 兵庫県理学療法士会 総務部長  
2019年 兵庫県理学療法士会 理事  
2021年 兵庫県理学療法士会 副会長・理事  
2023年 兵庫県理学療法士会 副会長・理事  
2025年 兵庫県理学療法士会 副会長・理事

## 立候補の趣旨

近年、かつて90%超を誇った協会の組織率が60%を下回り、事業基盤の維持も危ぶまれる状況です。この現状を受け、士会活動を「見える化」して、所属するメリットを実感できる組織を目指し立候補いたしました。特に取り組みたい柱は次の3点です。

- ① 会費負担の軽減  
活動の効率化と重点化で、負担の適正化を図ります。
- ② 生涯学習センター（仮称）の設置  
新たな地域医療構想に対応できる人材育成を推進します。
- ③ デジタル活用と会員参加型組織への改革  
業務を効率化し、幅広い世代の声を反映する体制を整えます。

急性期から生活期まで一貫して支援し、地域と連携して多職種と協働する士会活動が、いま強く求められています。超高齢社会に対応した全人的リハビリテーションを担う人材の育成、若手世代（20～30代）のニーズを的確に反映した未来志向の活動、そして先輩方の経験と若手の力を融合させた次世代型の士会運営に、微力ながら取り組んでまいります。何卒、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 立候補の趣旨

2019年に理事に選出いただいて以来、3期6年間にわたり兵庫県理学療法士会の運営に携わり、運営委員の負担軽減および運営方法の見直しに取り組んでまいりました。特に2023年以降の2年間では、①事務局機能の強化と事務業務の最適化、②デジタル業務支援の新たな提案、③代議員・理事連絡会の実施などに注力してまいりました。この間、多くの代議員の皆様と意見を交わし、今後の県士会のあるべき姿を議論しながら、新たな挑戦にも取り組むことができました。現在、会員数は7,000名を超え組織規模が拡大する一方で、休会者の増加が大きな課題となっています。今回の立候補にあたり、【会員サービスの向上】を最大の目標と掲げ、休会者にも復帰を促せるような魅力ある士会づくりを目指します。同時に、デジタル技術を活用した運営効率化により、運営スタッフの負担軽減も実現してまいります。事務局機能のさらなる強化を基盤に、安定した士会運営の構築に一層尽力してまいります。何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。





氏名 小山 長

年齢 50

勤務先名 新須磨病院



氏名 水田 潤史

年齢 45

勤務先名 リハビリモンスター元町

## 経歴

2006年 一社) 兵庫県理学療法士会 神戸(西)ブロック ブロック長  
2007年 一社) 兵庫県理学療法士会主催 第20回兵庫県理学療法士学会 準備委員長  
2012年 公社) 日本理学療法士協会主催 第47回日本理学療法学会(兵庫)学術編集部 部長  
2015年 公社) 日本理学療法士協会近畿ブロック主催 第55回近畿理学療法学会大会 広報・渉外局 局長  
2015年 一社) 兵庫県理学療法士会 理事  
2016年 公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員  
2016年 一社) 兵庫県理学療法士会主催 第28回兵庫県理学療法士学会 大会長  
2020年 公社) 日本理学療法士協会近畿ブロック主催 第61回近畿理学療法学会大会 運営局 局長  
2023年 兵庫県プライマリ・ケア協議会 幹事  
2023年 日本理学療法士協会近畿ブロック倫理 担当

## 立候補の趣旨

私は平成27年より5期10年間理事として、支部活動を主な課題として取り組んでまいりました。現在の支部活動は、より地域に根ざした独自性のある活動が求められ、その業務内容は、年々複雑なものとなってきております。

新型コロナウイルス感染予防のため、支部内のコミュニティは希薄になってしまいました。そこで2023年に支部コミュニティ再編プロジェクトを立ち上げ、支部会員の自由な横のつながり強化を目的とした事業企画ができるように進めました。

「支部の独自性」とは何なのか、それぞれの支部が探求する時期が来ています。その時、各支部が持つ想いを実現するために、あらゆる挑戦をサポートする必要があります。

私は兵庫県理学療法士会の支部活動に関わり、会員の方々にとって充実した理学療法士業務の一助となることを目標に、理事に立候補致します。

## 経歴

職歴  
2015年4月 医療法人協和会 協和マリナホスピタル 入職  
2020年4月 株式会社PLAST 入社(リハビリモンスター芦屋 施設長)  
2024年4月 株式会社リハビリモンスターへ異動  
2024年6月～ リハビリモンスター元町 施設長

県士会・協会活動  
2015年～ 一般社団法人兵庫県理学療法士会 阪神南(西宮・芦屋)支部長  
2018年 第30回兵庫県理学療法学会 準備委員長  
2022年 第61回近畿理学療法学会 事務局長  
2023年～ 一般社団法人兵庫県理学療法士会 理事(社会局・支部局担当)  
2024年～ 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

## 立候補の趣旨

私は2023年に初めて理事としてご信任をいただき、この2年間、たくさんの方々からご支援を頂きながら、社会局(職能部・スポーツ活動支援部)、支部局(神戸東・西支部)、男女共同参画推進委員会を担当させて頂きました。理学療法士としての本業と並行して協会や士会活動に関わる中で、理学療法士が社会により求められる存在であるべきだと実感する機会はますます増加しました。

とりわけ職能部では議員の方々との接する機会があり、「理学療法士」という職種の認知は広まりつつあるものの、社会での活用はまだ十分ではないことを知りました。1期を通して活動の全体像をようやく把握できた今、次は「行動する」段階として2期目に臨みたいと考えています。また、士会や部の運営に尽力されている皆様のご負担や、若手の組織離れといった課題にも目を向け、声をカタチにできる活動を進めていきたいと考えています。

理学療法士としての未来が、より誇りを持てるものに、そして「所属してよかった」と思える士会づくりを目指して、引き続き微力ながらも力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 山口 良太

年齢 45

勤務先名 (株)アールイーコンセプト



氏名 山本 克己

年齢 68

勤務先名 一般社団法人 兵庫県理学療法士会

## 経歴

2016年 兵庫県理学療法士会 理学療法講習部長  
2017年 兵庫県理学療法士会 理事  
2018年 日本理学療法士協会 代議員（現在まで）  
2022年 日本理学療法士協会 常勤役員要件審査委員（2024年まで）  
2023年 兵庫県理学療法士会 常務理事

## 経歴

兵庫県理学療法士会  
事務局長 平成27年度～ 現職  
副会長 平成27年度～令和4年度  
常務理事 平成25年度～平成26年度  
理事 平成18年度～平成24年度  
保健福祉部長 平成11年度～平成17年度  
地域理学療法部・保健福祉部 部員 昭和61年度～平成10年度  
日本理学療法士協会 代議員 平成23年度～  
日本理学療法士協会 理学療法士労働環境委員会委員長 令和3年度～現在  
第47回日本理学療法学会大会 事務局長 平成24年度  
第25回兵庫県理学療法学会大会 大会長 平成25年度  
第55回近畿理学療法学会大会 副大会長 平成27年度

## 立候補の趣旨

私はこれまで4期8年にわたって当士会の理事を務めさせていただきました。本業を持ちながら理事の仕事をするのは非常に困難ではありましたが、初めて立候補した時から変わらない想いを持ってここまで続けてこられました。  
「理学療法士という職種や社会における役割をどうやって次の世代に繋げていくのか」「これから理学療法士を目指す人に対してどうやってこの仕事の素晴らしさを伝えられるのか」  
これまでの任期中にこれらの想いが少しずつカタチになってきたものもありますが、8年経っても十分とは言えません。それは私の力不足に他ならないわけですが、皆様のご支援を賜りあとひと踏ん張りさせていただきたいと思います。  
私は5期目に挑むに当たって、一つの公約を掲げたいと思います。  
それは、「兵庫県士会を未来につなぐミッション、ビジョンの策定」です。  
これは4期目から取り組んでいますが、未だ策定には至っていません。5期目は理事としての集大成としてこれに全力で取り組みたいと思います。  
皆様のご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。

## 立候補の趣旨

コロナをはじめ他の感染症もいまだ沈静化したとは言えず、国外では各地の紛争の長期化とトランプ政策の影響の増大、国内では与党勢力の脆弱化を見据えて、政治経済・医療の分野においても新たな社会秩序の構築が求められる中で、理学療法士も各場面で柔軟な対応が求められ、地域包括ケアの確立、医療・介護・福祉の連携や、健康増進等の新たな分野の拡充、理学療法士数の増加による就業需給バランスの安定、教育環境の整備などを進めていく必要があります。  
これらの諸課題の解決を図ろうとするとき、私たちは各分野で明確なビジョン、企画力、実行力が求められています。学術的・技術的な基礎水準の向上に裏付けられた社会的な地位の向上と、自らの生活の確保するという至上命題を達成し、理学療法士は丸と成って将来の展望を切り開いていかなければなりません。  
兵庫県士会も上記の課題に対して、即応できる効率的、機能的な組織づくり、運営体制を構築し、自治体と県士会での活動経験をもとに、会員の皆様と兵庫県士会がさらに高みを目指す活動をしていきますので、よろしくご支援をお願いいたします。





氏名 堀 寛史

年齢 48

勤務先名 甲南女子大学看護リハビリ  
テーション学部



氏名 熊谷 陽造

年齢 47

勤務先名 公立神崎総合病院

## 経歴

【職歴】 2005 - 2020年 藍野大学  
2020 - 2024年 びわこリハビリテーション専門職大学  
2024年 - 現在 甲南女子大学  
【社会活動】 2022年 - 日本精神心理領域理学療法研究会 理事  
世界メンタルヘルスの理学療法国際委員  
2025年 第36回兵庫県理学療法学会 副会長

## 立候補の趣旨

私は、臨床推論・ICT活用・メンタルヘルスの理学療法を専門としています。そして、長い間、心と身体を統合的に捉える理学療法の可能性を探ってきました。新たな視点と実行力で兵庫県理学療法士の運営に貢献すべく立候補いたしました。会費は会員の皆さまが託して下さる貴重な資源です。負担以上の「払って良かった」を感じられる仕組みを作ることが私の最優先目標です。

### 【1. 職場メンタルヘルス研修の充実】

現在、幅広い現場で、スタッフのメンタルヘルス不調が増えています。その解消策として管理者・指導者層を対象とした定期研修を企画・開催します。

### 【2. 産官学連携と働き方改革の推進】

医療機器・ICT企業などとの、最新ツールの展示や業務改善事例を共有するためのイベント開催し協会外からの協賛を得て財源を増やします。さらにDX分野にも力入れ、会員専用SNSやオンライン交流会、キャリア相談など、垣根を越えた情報共有を促進します。

### 【3. 学習支援の拡大】

すでに全国的に評価の高い兵庫県の研修会をさらに高めていきたいです。小規模施設や地方勤務者など学習機会の格差を減らす学習支援を拡充します。また、症例報告スキルを強化するためのワークショップを定期開催し、指導者やコーディネーターの育成を行い、職場での指導力の向上を目指します。

## 経歴

学歴 2001年 神戸大学医学部保健学科卒業  
職歴 2001年 公立神崎総合病院  
2006年 かんざき訪問看護ステーション  
2011年 公立神崎総合病院  
役員歴 2019年～2023年 兵庫県理学療法士会研修部部長  
2023年 第34回兵庫県理学療法学会大会準備委員長  
2023年 兵庫県理学療法士会 理事  
2024年 日本理学療法士協会 代議員

## 立候補の趣旨

2023年より兵庫県理学療法士会の理事として活動して参りました。この二年間、学会運営審議会、マルチモビリティ事業対策、急性期リハビリテーション調査、年間研修計画の作成等に従事し、兵庫県における理学療法士が直面する地域課題の解決に努めるとともに、行政との連携の重要性を改めて認識いたしました。また、各施設への年間研修計画や入会案内などの配布物準備に伴う役割分担の明確化し情報共有を進めました。公約として掲げましたアーカイブサイトの構築や実技講習会の充実につきましては、段階的ではありますが、着実に形となりつつあります。また、各部の皆様のご協力のもと、年間研修計画を策定し、研修状況の可視化を図ることができましたが、さらなる調整の余地があることも実感しております。これまでと同様、「より分かりやすく、より迅速に」を信条とし、多様なライフスタイルやキャリアのもとにあっても、学びの機会を提供することが重要な課題であると考えております。より多くの会員の皆様のご意見を県士会の活動に反映させることで、理学療法士の資質向上につながるよう今後も尽力してまいります。皆様のご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 井 貫 博 詞

年齢 55

勤務先名 兵庫県立はりま姫路総合医療センター



氏名 樋 笠 重 和

年齢 51

勤務先名 西宮回生病院

## 経歴

【学歴】  
 1991（平成3）年3月 高知医療学院 理学療法学科 卒業  
 2001（平成13）年3月 佛教大学 社会学部 社会福祉学科 卒業  
 2003（平成15）年3月 神戸大学大学院 博士課程前期課程 修了（保健学修士）  
 2007（平成19）年3月 神戸大学大学院 博士課程後期課程 修了（保健学博士）  
 【職歴】  
 1991（平成3）年4月 兵庫県立姫路循環器病センター  
 2010（平成22）年4月 兵庫県立西宮病院  
 2018（平成30）年4月 兵庫県立加古川医療センター  
 2020（令和2）年 4月 兵庫県立姫路循環器病センター  
 2022（令和4）年5月 兵庫県立はりま姫路総合医療センター  
 【県士会活動歴】  
 1992（平成4）年4月～1997（平成9）年3月 西播ブロック運営委員  
 1997（平成9）年4月～1999（平成11）年3月 会誌編集委員  
 1999（平成11）年4月～2004（平成16）年3月 研修部員  
 2012（平成24）年5月 第47回日本理学療法学会大会 広報部長  
 2023（令和5）年7月～ 兵庫県理学療法士会 理事

## 立候補の趣旨

私は新人時代より県士会活動に参画し、十数年ですが色々なことを学び経験させていただきました。  
 しばらく県士会活動を見守って参りましたが、時代の変遷とともに理学療法士の取り巻く環境が大きく変化している昨今、微力ながら今まで培った経験をもとに2023（令和5）年7月より理事として県士会活動を2年間行って参りました。  
 さらなる県士会の発展ならびに理学療法士の未来のために貢献すべく、引き続き立候補することに至りました。  
 以上、よろしくお願い致します。

## 経歴

2014～2018年度 兵庫県理学療法士会阪神南（尼崎）支部ブロック長  
 2019年度 兵庫県理学療法士会阪神南（尼崎）支部長  
 2019～2020年度 兵庫県理学療法士会局長（支部運営審議会担当）  
 2021年度～現在 兵庫県理学療法士会理事

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会の理事に立候補させていただく運びとなりました。  
 私は阪神地区の支部運営の支援を主に携わり、会員の皆様の活動を支援してまいりました。また、会員の皆様が円滑に活動できるよう、地域社会との連携を深められるよう努めてまいりました。  
 近年では学校保健事業に関わるようになりました。支部運営で培った地域との連携の経験を活かし、学校現場のニーズを把握しながら、児童生徒への運動指導を実施しております。  
 これらの経験を通して、地域に根差した活動の重要性和、次世代の健康を支えることの意義を強く感じています。支部運営では、会員一人ひとりの意見を吸い上げ、組織として地域に貢献していくことの難しさとやりがいを感じました。学校保健事業では、子どもたちの笑顔を守るために、地域の方々と連携し、早期からの予防や健康教育の重要性を認識いたしました。  
 県士会の理事として、これらの経験を活かし、県士会と各支部との連携を強化し、会員の皆様の意見をより反映できる運営体制を目指します。また、学校保健事業への関心を高め、県士会として組織的に取り組むための基盤づくりを進めていきたいと考えております。  
 微力ではございますが、兵庫県理学療法士会の発展のため、誠心誠意努めてまいります所存です。皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





氏名 間瀬 教史

年齢 59

勤務先名 甲南女子大学看護リハビリ  
テーション学部



氏名 有吉 智一

年齢 52

勤務先名 石川病院

## 経歴

日本理学療法士協会役員  
平成27年～平成29年 理事、学会運営審議会審議員  
平成28年～平成29年 臨床実習の手引き作成特別委員会委員長  
令和2年～現在に至る 認定・専門理学療法士制度部会長  
令和6年～現在に至る 常勤役員要件審査委員会委員長

日本理学療法学会連合、日本呼吸理学療法学会  
令和4年～令和6年 理学療法標準化検討委員会委員  
令和3年～現在に至る 日本呼吸理学療法学会監事

兵庫県理学療法士会役員  
平成7年～現在に至る 理事  
平成25年～令和3年 副会長  
令和3年～現在に至る 会長

## 経歴

2012.4月～2014.3月 中播磨ブロック運営委員  
2014.4月～2018.3月 中播磨ブロック長  
2018.4月～2019.3月 中播磨支部長  
2019.10月～2021.6月 支部局局長  
2020.1月～2023.3.31 管理者ネットワーク中播磨支部世話人  
2021.7月～ 兵庫県理学療法士会 理事

## 立候補の趣旨

2040年前後までの日本の社会構造変化に対する、医療介護に関わる今後の方針が厚生労働省をはじめ多く機関から発表されています。私たち理学療法士もその変化に対応していく必要があります。兵庫県理学療法士会（以下県士会）の活動も、それら動きを適切に把握し、私たち理学療法士が、将来の日本さらに各地域において、どのような役割を果たすべきなのか。そのためには法的、診療報酬などの制度的にどのような変更が必要で、理学療法士の能力として何が必要となるのかを把握、そして変化させる必要があります。さらに、理学療法士の処遇改善は、その達成に必要不可欠な内容と考えております。

これらのことを考えると、県士会の事業の中心は、会員の皆様が社会構造変化に対応できる適切な能力を身につける研修体制の整備、および政治・職能活動による会員の働く環境の改善・整備であると考えています。会長に就任させていただき、この4年間、上記の目的を達成するために、さまざまな事業に取り組んでまいりました。これらのさらなる発展・実行を目指し、理事に立候補いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会の理事に立候補致しました有吉智一と申します。

これまで、兵庫県理学療法士会で支部長として中播磨支部を、また理事として、播磨4支部を支えてまいりました。コロナ禍のこの2年間は、これまで当たり前のようできていた支部活動が制限され、対面からオンラインへと会議や研修会も様変わりしました。また、生涯学習も刷新され、前期研修と後期研修からなる登録理学療法士制度が始まり、士会主催研修会や登録理学療法士の更新など支部が担う役割も大きくなりました。その他にも高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施や管理者ネットワークなど取り組むべき課題もありますが、原点回帰の支部の会員一人一人の繋がりを大切に、理学療法士の生活を守るという大きな目標に向けて、取り組んでいきたいと思っております。よろしくご支援のほどお願いいたします。



氏名 桑山 浩明

年齢 49

勤務先名 介護老人保健施設ローランド



氏名 中村 竹男

年齢 43

勤務先名 株式会社ラヴィー

## 経歴

2004～2010 兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮・芦屋）ブロック運営委員  
2010～2015 兵庫県理学療法士会 阪神南（西宮・芦屋）ブロック長  
2010～現在 阪神在宅リハ連絡会 代表世話人  
2014～2021 日本地域理学療法学会 運営幹事  
2021～現在 日本地域理学療法学会 評議員  
2016～2018 日本訪問リハビリテーション協会 理事  
2023～現在 兵庫県理学療法士会 理事

全国訪問リハビリテーション研究会地域研修会2010 in 兵庫 実行委員長  
第6回日本訪問リハビリテーション協会学術集会2015 in 大阪 副実行委員長  
平成29年度日本地域理学療法学会フォーラム in 兵庫 フォーラム長

## 経歴

【職歴】  
2004年～2005年 医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院  
2005年～2018年 株式会社ラヴィー 訪問看護・リハステーションラヴィー  
2018年～ 株式会社ラヴィー 法人本部  
【県士会活動等】  
2015年～ 兵庫県理学療法士会 保健福祉部  
2016年～2023年 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会  
人材育成研修 実行委員  
2020年～2024年 神戸（西）支部 代議員  
2024年～ 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会  
人材育成研修 運営委員  
【社会活動】  
2018年～ 西区医療介護サポートセンター研修小委員会

## 立候補の趣旨

私は、2023年より兵庫県理学療法士会の理事にならせていただき、理学療法啓発部と災害対策部の担当しました。  
理学療法啓発部では、啓発対象者を若年層へのシフトチェンジする取り組み、災害対策部では先の能登半島地震での活動支援など、部員の皆様の活動への思いを共有させてもらうとともに、多くの負担を与えたものとも感じております。  
また、士会全体としても、変革期にあり業務改善を図りながら、新たな取り組みも行ってまいります。  
私たちは、対象者の生活を守り、豊かにする夢のある職務についており、その基盤を作られてきた諸先輩方の活動を尊重しつつ、時代にあった私たち自身の生活を守り豊かにする理学療法士業界を作る必要があります。  
そのための士会運営であり、会員の皆様に還元できる取り組みを行っていきたいと思いますので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

## 立候補の趣旨

私は保健福祉部員として10年間、神戸（西）支部 代議員として4年間、活動させていただきました。  
県下の理学療法士と関わる中で、限られた人材・資源の中で効率性と安全性と担保しながら一定の成果が求められることに對して、「私たちは何をすれば良いのか？」といった趣旨の声をしばしば耳にしてきました。  
昨今は「ワークライフバランス」や「ワークインライフ」という言葉があるように、個人の「働き方」、「価値観」をはじめとした多様性が重視されています。このような背景がある中でも、理学療法士としてのスキルアップから個人のキャリア形成も組織として取り組むことが求められていると感じています。  
これまでの県士会活動の経験を活かし、県士会員をはじめ、県下の理学療法士の声を理事の立場から聴き入れながら、県士会の組織運営に携わっていきたいと考え、立候補いたしました。何卒よろしくお願いいたします。





氏名 正木 健一

年齢 56

勤務先名 介護ショップ蓮

## 経歴

平成24年度～令和元年6月 兵庫県理学療法士会 事務局財務部長  
令和元年6月～令和3年6月 兵庫県理学療法士会 局長（財務担当）  
令和3年6月～現在 兵庫県理学療法士会 理事（事務局担当）  
令和3年4月～ 兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会企画運営委員

## 立候補の趣旨

私たち理学療法士は保健医療福祉の分野において、全ての人の身体・活動・参加のサポートを行う専門家です。それは行政・医療・介護・教育・スポーツ分野などにおいて、発症後のみならず予防の領域においても持ちうる職能を多様に発揮しその活動の場はさなる広がりを見せています。

現在私は地域における生活支援のフィールドで、利用者の日常生活活動の獲得及び向上、家族や介護職の介護負担の軽減に当たっています。そこでは送り手である病院や受け手となる通所訪問系サービスを担う理学療法士との連携が必須であり、各期の理学療法士の存在が利用者の今後の生活にとって大きな意味を成すことを肌で感じています。理学療法士介入の効果をより高めるため、その知識と技術に基づく信頼を向上する研修機能の充実、職能内外の他職との連携の強化を図る必要があります。兵庫県理学療法士会が会員の意見を細やかに吸い上げ、あらゆる情報をもとに、何が必要でどう形作るのか検討し、実行する仕組みを作ることで、理学療法士会の会員が活躍できる環境を整えるのが理事の役割と考えます。

私は平成13年から保健福祉部員、平成24年から財務部長、財務担当局長を経て、令和3年より理事として士会運営に携わり、なかでも維持生活期における理学療法士の力を発揮するための仕組みを兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会の活動を通して取り組んできました。この経験を活かし、あらゆる分野で会員のみなさんがより一層活躍できるよう、私自身微力ではありますが取り組んでいきたいと考えて立候補いたしました。何卒皆様のご支援をよろしくお願い致します。



氏名 藤 信太郎

年齢 42

勤務先名 神戸医療福祉専門学校三田校

## 経歴

2009～2024年 医療法人社団慈恵会 神戸総合医療専門学校 専任教員  
2024年～現在 学校法人滋慶学園 神戸医療福祉専門学校三田校 専任教員  
2021～2023年 兵庫県理学療法士会 理学療法講習部 部長  
2023年～現在 一般社団法人 兵庫県理学療法士会 理事（学術局）  
2019年 PT・OT・ST養成施設教員等講習会 修了  
2019年～現在 臨床実習指導者講習会（都道府県講習会） 講師&ファシリテーター

## 立候補の趣旨

私は2023年の役員選挙で初めて理事に選出していただき1期を終えようとしています。この2年間で学術局担当としての業務に限らず「諸手当支給規則」や「研修会 申請マニュアル」作成への従事など、円滑な部／支部活動の取り組みや働き方をサポートしてきました。その後、士会事務業務最適化プロジェクトでは取りまとめとして、多くの士会員への意見聴取を通じて士会内業務の問題・課題を顕在化することに至りました。解決に時間を要するものも多く、十分な成果までは至っていませんが段階的に対策を講じています。

近年は士会事業として、多くの方々の協力を得ながら研修会が企画・運営されています。しかし、協会の生涯学習システムとの共存や、受講目的の多様化への対応、アーカイブ配信の活用法の検討など関係者の働き方を含め、今の時代に則した研修会の在り方が問われています。士会では昨年、研修調整部門が立ち上がりしました。その役割として、他部門とシームレスな連携を図ることで士会として研修事業の位置づけを明確化し、前述の課題を解決していくことが重要と考えます。教育機関に従事するものとして、それらの整備を推し進め、各士会員のニーズに寄り添った研修事業の在り方を策定していく必要性を強く感じています。

1期立候補の際にも掲げました「性別や立場、経験の違い等に関係なく士会活動へ参画できる開かれた士会」の実現も含め、直面する数々の課題解決に向き合うため、今期も理事選に立候補致します。まだまだ若輩者ではございますが、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





氏名 西原 浩真

年齢 38

勤務先名 神戸市立医療センター中央市民病院



氏名 上野 勝弘

年齢 51

勤務先名 西記念ポートアイランドリハビリテーション病院

## 経歴

2009年 鈴鹿医療科学技術大学 保健衛生学部 卒  
 2009年～ 神戸市立医療センター中央市民病院 リハビリテーション技術部 配属  
 2013年～現在 神戸東支部運営委員  
 2021年～2024年 神戸東支部支部長  
 2024年 神戸市立医療センター中央市民 主査

## 経歴

【学歴】平成11年3月国際医療福祉大学卒、令和2年9月兵庫県立大学大学院経営研究科医療マネジメントコース卒【職歴】平成11年5月医療法人康雄会入社 西病院、平成13年5月介護老人保健施設ケアホームすばる、平成14年5月西病院、平成25年4月西記念ポートアイランドリハビリテーション病院、リハビリテーション科統括科長【資格】平成11年4月理学療法士免許取得、平成22年1月3学会合同呼吸療法認定士【士会活動】平成30年8月表彰委員会委員、令和2年6月・令和4年6月・令和6年6月代議員、令和3年東神戸支部管理者ネットワーク世話人

## 立候補の趣旨

この度、兵庫県理学療法士会の理事選挙に立候補いたします  
 西原です。これまで神戸東支部支部長として、地域に根差した活動を続けてまいりました。多くの会員の皆さまと連携しながら、地域包括ケアの推進や若手育成に取り組んできた経験を、今後は兵庫県全体の発展のために活かしていきたいと考えております。  
 現場の声を大切にしながら、理学療法士の専門性がより社会に貢献できるよう尽力してまいります。  
 何卒よろしくお願いいたします。

## 立候補の趣旨

令和6年に2040年頃の医療提供体制を見据えた、「新たな地域医療構想」が取りまとめられました。医療と介護の複合ニーズを抱える85歳以上の高齢者の増加や人口減少が進む中で、全ての地域・全ての世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院し日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できる医療提供体制を構築すること、そして、限りある医療資源を最適化・効率化しながら、「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護提供体制を構築することが必要とされました。高齢者医療においては、マルチモビリティ患者へのリハビリテーションを含む、治し支える医療の観点が必要で入院早期から生活期にかけ、私たち理学療法士が関わることの必要性が高まっています。地域社会から求められる理学療法、医療技術の進歩に見合う理学療法を提供していけるよう協会の研修体制の構築を提案していきます。また、医療・介護・地域の事業所が連携を図れる体制に向けた取り組みを提案していきます。若手理学療法士をはじめ、多くの世代が主力となって取り組めるように、そして、諸先輩方の経験を踏襲しつつも時代の変化に柔軟に対応しながら、次世代リーダーへ繋いでいくことが大切ではないか、微力ではありますが兵庫県理学療法士協会の活動に寄与してまいりたいと考えております。皆様のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



氏名 玉木 彰

年齢 59

勤務先名 兵庫医科大学リハビリテーション学部

## 経歴

2005年～2011年 京都府理学療法士会理事  
2010年～2019年 日本呼吸理学療法学会副代表幹事  
2019年～2021年 日本呼吸理学療法学会代表幹事  
2021年～現在 日本呼吸理学療法学会理事長  
2021年～現在 日本理学療法学会連合理事

## 立候補の趣旨

京都府理学療法士会所属していた2011年までは京都府士会の理事を拝命しておりましたが、その後兵庫県理学療法士会に転入後は自身の専門領域である日本呼吸理学療法学会の理事長として学術活動の発展に努めて参りました。  
現在、日本理学療法士協会の組織率が徐々に低下していますが、これは若い理学療法士の方々にとって魅力ある職能団体でなくなってきたことが原因と考えられます。  
そこで兵庫県理学療法士会が会員にとって魅力のある士会活動を創造し、さらに兵庫県士会独自に診療報酬の増点につながるような多施設共同研究などの事業展開を推進していきたいと考え、今回立候補させて頂きました。どうぞ宜しくお願い致します。

# 監事立候補者

定数：2 名

立候補者数：1 名

備考：この選挙公報は、立候補届出順に、

候補者から登録された内容をそのまま掲載したものです





氏名 岩井 信彦

年齢 68

勤務先名 神戸学院大学総合リハビリテーション学部

## 経歴

<兵庫県理学療法士会委員・役員歴>

1993年 西播ブロック長（1996年まで）

1997年 理事（2020年まで）

2004年 副会長（2014年まで）

2015年 会長（2020年まで）

2021年 監事（現在に至る）

<日本理学療法士協会委員・役員歴>

2005年 代議員（2021年まで）

2018年 常勤役員要件審査委員会委員（2021年まで）

2019年 グランドデザイン検討委員会委員（2019年まで）

## 立候補の趣旨

監事という役職は、組織の活動が、法令や定款に従って適正に行われているか監査する役割を担っています。また、組織の透明性と信頼性を高め、ガバナンスの健全性を保つうえで大切な役職です。

私は、長年、本会の理事として、士会活動に携わってきました。また、2021年からは、監事として、士会活動を見つめてきました。これらの経験を活かし、微力ではありますが、本会の活動を今後も支えていきたいと思っています。よろしくお願い致します。